100-329705-BN-00

医療機器承認番号：22300BZX00136000
販売名：BD オートシールド

BD オートシールド™

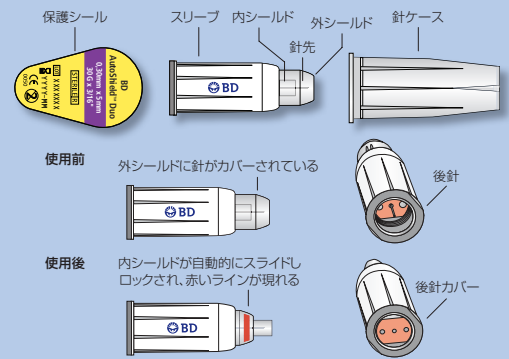
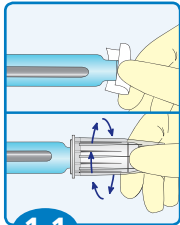
BD オートシールド™ デュオ　30G（0.30mm）×5mm

両端自動カバーによる針刺し損傷防止機構付きペン型注入器用注射針
（針先側（患者側）と後針側（カートリッジ側）の双方の安全機構が自動的に作動する、使用者の針刺し損傷防止機構が備えられたペン型注入器用注射針）

取扱説明書

穿刺部位は腹部がより適しています。

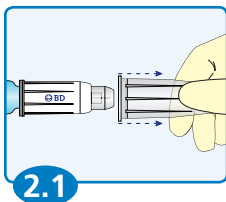
1 針の取り付け

1.1

1 ペン型注入器の取扱説明書、または施設の基準に従って、ペン型注入器のカートリッジのゴム栓を消毒してください。
保護シールを剥がし、ペン型注入器に針ケースごとまっすぐ奥まで差し込み、止まるまで時計回りにまわして確実に取り付けてください。

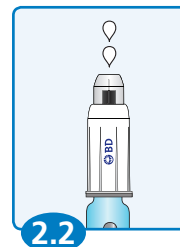
⚠ **注意：**使用前に保護シールや本体に破損または異常が認められた場合、すみやかに廃棄し、新しい製品を使用してください。

⚠ **注意：**針を斜めに差し込まないでください。また、取り付けの際は、きつく締め過ぎないでください。

2 注射の準備

2.1

2.1 針ケースをまっすぐ引っ張って外してください。

⚠ **注意：**針ケースを外したあとに外シールドに触れないでください。誤って安全機構が作動し、針が使用できなくなるおそれがあります。また、針刺し損傷のおそれがあります。

2.2

2.2 ペン型注入器の取扱説明書に従って空打ちを行い、針先から薬液が出ることを確認してください。

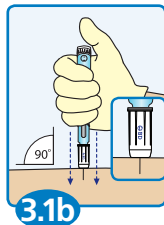
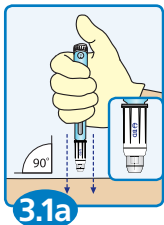
⚠ **注意：**空打ちの際に、内シールド及び外シールド内に流出した薬液が注射後、皮膚表面に残る場合があります。

3 薬液の注入

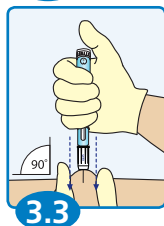
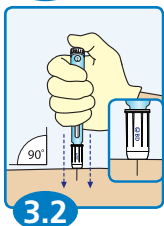
3.1a

3.1b

3.2

3.3

3.1 ペン型注入器の取扱説明書に従ってペン型注入器のダイヤルを回し、投与量を設定してください。ペン型注入器を図（3.1a）のように持ち、皮膚に対して針を90度の角度で刺してください。その際、透明のシールドがスリーブ内に入り、スリーブの縁が皮膚に接するまで、連続的な動きで手を止めることなく一息に刺してください。（図3.1b）

3.2 内シールド及び外シールドが戻らないように皮膚に対して一定の力を保ちながら、親指でボタンを押して薬液を注入してください。薬液が完全に注入されるまでは、針を抜かないでください。注入時間に関しては、ペン型注入器の取扱説明書を参照してください。

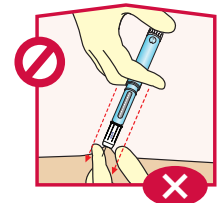
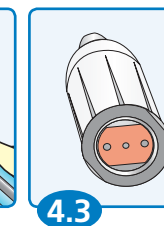
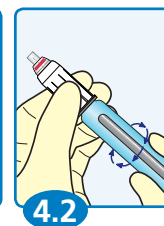
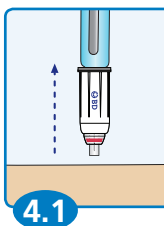
3.3 インスリンなどの皮下注射で針を垂直に刺すことによって筋肉注射になるおそれがある場合は、つまみ上げを行ってください。その場合、つまみ上げた幅が3センチ以上になるようにしてください。

間違った注射の方法

・つまみ上げた幅が3センチより狭くならないようにしてください。
・ペン型注入器はシリンジを使用するときと同じような角度で持たないでください。
・皮膚をつまんでいる指に向けて針を穿刺しないでください。
（針刺し損傷の原因となります。）

4 針の取り外しと廃棄

4.1

4.2

4.3

4.1 注入が完全に終了したら、針を皮膚から抜いてください。その際、内シールドが自動的にスライドし、ロックされることにより安全機構が作動します。赤いラインが現れ、針が使用済みであることがわかります。

4.2 針の取り外しはスリーブを持ち、ペン型注入器を反時計回りに回転させて外してください。

4.3 その際、オレンジの後針カバーが自動的にスライドし、後針が保護されます。

⚠ **注意：**安全機構が作動したシールド、及び後針カバーには触れないでください。

⚠ **注意：**使用後の注射針は、直ちにペン型注入器から取り外し、装着したままにしないでください。

⚠ **注意：**使用済みの注射針は速やかに耐貫通性廃棄容器に廃棄してください。

⚠ **注意：**廃棄においては、関連法規、地方自治体の基準、各施設の規定に従ってください。

製品使用開始前に必ずオンライン等で、使用手順・注意事項をお読みください。

◆オートシールド・オンライントレーニングサイトはこちら　http://www.bdj.co.jp/s/autoshield-t/

製造販売元
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
ダイアベティーズケア事業部
〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地
www.bd.com/jp/

◆ 製品関連・資料請求　カスタマーサービス
◆ 注文・納期・在庫のお問合せ　受注管理
0120-8555-90
FAX：024-593-5761